

# 76年目のヒロシマ・ナガサキ

「民主と自治の会」・藤代政夫

1945年8月6日・8月9日広島、長崎に原爆が投下され多くの人々の命が奪われ、又放射線によって多くの方々の健康被害の苦しみが続いています。(「黒い雨」訴訟はそのひとつです)

今年も鎌ヶ谷市役所の裏(総合福祉センターの正面)にあるヒロシマで被爆した敷石のモニュメントの前で(8/6)、市役所正面入り口(8/9)にて“非核平和を祈念する市民の集い”が催されました。

コロナ禍、マスク・ソーシャルディスタンスを守っての集まりでしたが多くの方々が参加しました。

鎌ヶ谷市の「非核平和都市宣言」の朗読、原爆投下時刻での黙祷・献花、折鶴会の小中さんの貴重なお話と「長崎の鐘」の歌、そして峠三吉の原爆詩集と一本の鉛筆の歌詞の朗読など・・・改めて平和を作っていくことの大切さを知らされる時を持つことが出来ました。



鎌ヶ谷市長も非核平和宣言都市の首長として、メッセージだけでなく本人が集いに参加して欲しいものです。

それにつけても現在の日本政府の姿勢にはあきれると同時に怒りが・・・広島・長崎での式典での読み飛ばし・遅刻は一国の首相の思いのなさの現われか。

いつも常套句のように「世界で唯一の被爆国」といながら、国連で採択され今年1/22に効力を発効させた『核兵器禁止条約』には反対し米国の核の傘、核の抑止力によって日本を守っているのですとってはばからない菅政権です。本当に国民の命の大切さ、生命の尊厳を思っているのだろうか悲しくなってしまいます。



全国の「平和首長会議」は核兵器禁止条約の早期締結を求める署名活動を展開しています。鎌ヶ谷市も平和首長会議の会員なのです。平和行政を推し進めて欲しいものです。

又、7/23～8/8までオリンピックが行われていましたが、8月6日の8時15分ヒロ

シマ原爆投下時の黙祷をオリンピックの競技場ではやらないことにしてしまいました。ジェンダーフリー、あらゆる差別に反対する、平和の祭典であるオリンピックなのにヒロシマ被爆への平和の祈りの態度を示せない東京オリンピックって何なのでしょう???

かつて広島を訪れたローマ教皇パウロII世はメッセージで「戦争は人間の仕業です。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です」「広島を考えることは核戦争を拒否することであり、平和に対しての責任を取ることです」と述べています。

「平和に対しての責任を取る」ことの意味を十分に考え行動していかなければと思われます。

NHK の「20 世紀の映像」の中で日本の朝鮮・中国への侵略、沖縄戦の人々の苦しみ、ナチスのホロコースト、アウシュビッツの映像が・・そして広島・長崎の原爆の映像が“人々が見た地獄”として放映されていました。まさに戦争という地獄の最終結末がヒロシマ・ナガサキの原爆なのです。

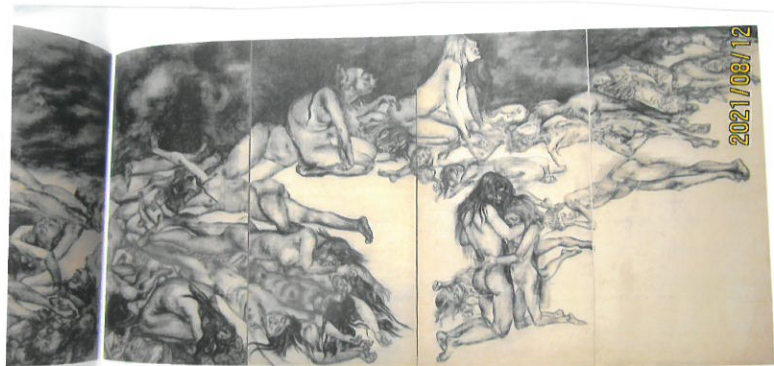


人は天使にも悪魔にもなるといわれています。戦争という中に投げ出されると天使のような人でも戦争の中で地獄図を描いてしまう。

でも核戦争がいいという人は居ませんし、みんなが「戦争はだめだ」と言います。

8/6、8/9 に考えさせられました。平和は作っていくものです。一步一步でも前に歩んでいきましょう。…………「永遠平和のために」

「民主主義と自治そして平和主義」ふじしろ政夫 445-9144



丸木位里&丸木俊『原爆の図』より